

**製品名: KIR3.3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13030**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	44kDa

**抗原情報**

遺伝子名	KCNJ9
別名	KCNJ9; GIRK3; G protein-activated inward rectifier potassium channel 3; GIRK-3; Inward rectifier K(+) channel Kir3.3; Potassium channel; inwardly rectifying subfamily J member 9
遺伝子 ID	3765.0
SwissProt ID	Q92806
免疫原	抗血清はヒト KCNJ9 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110

**背景**

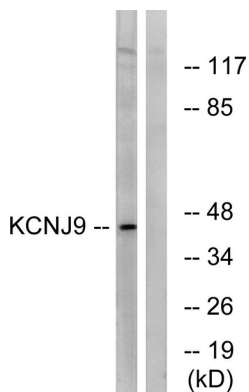
カリウムチャンネルはほとんどの哺乳類細胞に存在し、広範囲の生理学的反応に関与している。この遺伝子によってコードされるタン

パク質は、内向き整流型のカリウムチャンネルであり、膜貫通タンパク質である。コードされるタンパク質は、カリウムが細胞外に流入するよりも細胞内に流入する傾向が強く、G タンパク質によって制御される。このタンパク質は、別の G タンパク質活性化カリウムチャンネルと会合して、ヘテロ多量体の孔形成複合体を形成する。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: この受容体は G タンパク質によって制御される。内向き整流型のカリウムチャンネルは、カリウムが細胞外に流入するよりも細胞内に流入する傾向が強いのが特徴である。その電圧依存性は細胞外カリウム濃度によって制御され、細胞外カリウム濃度が上昇すると、チャンネル開口の電圧範囲はより正の電圧にシフトする。内向き整流作用は主に、内部のマグネシウムによる外向き電流の遮断によって生じます。、類似性:内向き整流型カリウムチャンネルファミリーに属します。、サブユニット:GIRK1 と会合して、G タンパク質活性化ヘテロ多量体孔形成ユニットを形成します。、

## 研究分野

-

## 画像データ



KCNJ9 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。